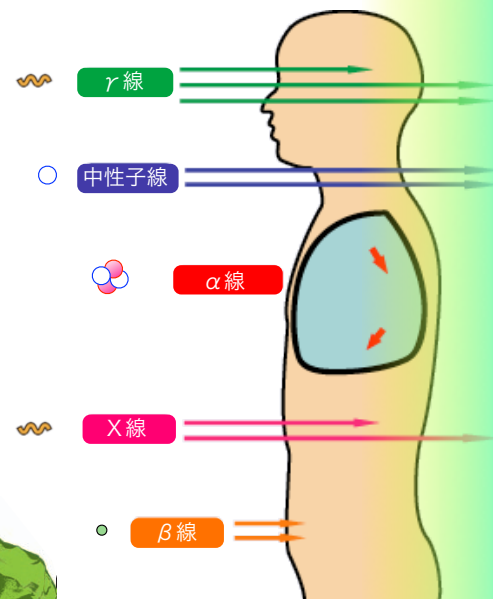


Aセメスター 秋学期9月 金曜5限 開講!!

主題科目学術フロンティア講義

放射線 科学的に 理解する



金曜5限
2018年9月28日開講!
講義室: 21KOMCEE
(West) K303

担当教員:

鳥居 寛之 (粒子線物理学) 《理学部》
小豆川 勝見 (環境分析化学) 《教養》
渡邊 雄一郎 (生命環境応答学) 《教養》

ゲスト講師:

坪倉 正治 《福島県立医大; 相馬中央・南相馬病院》
太田 岳史 《医学部附属病院放射線科》
藤原 徹 《農学部 応用生命化学》

講義内容

- 9/28 ガイダンス/放射線入門【鳥居】
- 10/ 5, 19 放射線物理・化学【鳥居】
- 10/12 放射線計測学【小豆川】
- 10/26 放射線生物学【渡邊】
- 11/ 2 被曝調査・医療支援【坪倉】
- 11/ 9 放射線医療【太田】
- 11/30 原子核物理・原子力工学【鳥居】
- 12/ 7, 14 環境放射化学【小豆川】
- 12/21 放射性物質汚染と農業【藤原】
- 12/25* 放射線の利用【渡邊】
- 1/11 加速器科学・放射線防護【鳥居】
(* 火曜振替)

福島第一原子力発電所の事故から歳月が経ちました。現地では、復興と帰還、そして廃炉に向けた取り組みが進んでいますが、事故にともなって広範な地域に放出された大量の放射性物質による環境汚染は、そう簡単に片付くものではありません。かつては社会的関心事だった放射線をめぐるリスクの議論も、必ずしも人々の科学的リテラシーを向上させたとは言えない状況の中、人々の意識も風化しつつあります。

放射線を理解するには、物理・化学・生物・医学・工学・農学・法律など様々な分野の知識が必要で、全てを網羅することは容易ではありません。放射線の基礎的知識に関する教育は十分とは言えず、大学においても、広く一般の学生が系統立って学べる機会は限られています。

その貴重な機会を提供すべく、教養学部の教員が科学者・教育者の使命と意気込んで始めた講義が、今期で8年目の実績をもつ主題科目「放射線を科学的に理解する」です。3人の教員: 鳥居・小豆川・渡邊を中心に、ゲスト講師として様々な分野の専門家を招き、放射性核種や放射線の物理学的性質から環境汚染問題、そして生物学的・医学的影響やリスクの考え方で、幅広く講義を展開します。学際的な教養学部の強みを生かした講義で、科学的知識を体系的に身につけ、定性的および定量的に正しく判断する能力を養うことを目的とします。

対象: 東京大学教養学部生 (1年2年 理科学科ほか)

東大教養 放射線 講義

検索

<http://radphys4.c.u-tokyo.ac.jp/~torii/lecture/>

連絡先 (担当 鳥居)

torii-radio@radphys4.c.u-tokyo.ac.jp

書籍(準教科書) 好評発売中!

「放射線を科学的に理解する」丸善出版



ご購入は
生協書部部どうぞ